



# CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)静岡軽粗材株式会社 磐田工場	階数	地上2F
建設地	静岡県磐田市見付檜子ヶ谷1720番	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年4月1日
敷地面積	9,101㎡	作成者	株式会社飯田組一級建築士事
建築面積	4,213㎡	確認日	2024年4月1日
延床面積	4,753㎡	確認者	株式会社飯田組一級建築士事



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 76%

③上記+②以外の: 76%

④上記+: 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健)	1.9
4(教育)	1.8
5(エンダー)	2.0
6(水・衛生)	1.9
7(エネルギー)	1.9
8(経済・雇用)	1.7
9(イノベーション)	1.6
11(都市)	1.7
12(生産・消費)	2.0
13(気候変動)	1.8
15(陸上資源)	1.3
17(実施手段)	2.1

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。	
その他	・特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・仕上材等の建材は、F☆☆☆☆を使用している。	・事務室の天井高さは2.7mである。 ・食堂兼会議室(80.30m <sup>2</sup> )は工場と事務室の4.76%である。 ・各仕上材は防汚性の高い材料を採用している。	・景観条例に準じている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・省エネ適合性判定BEImは0.35である。	・断熱材はグラスウールを採用している。	・駐輪場、駐車場を適正に計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される